

「教育と保育の一体的提供のための意識調査(アンケート)」(概要)

平成24年11月

調査対象者：草津市の0歳から5歳児の子どもをもつ保護者 1,000名（無作為抽出）

配布数	回収数	有効回収率
1,000名	529	52.9%

※5割を超える回収率となっており、本市が実施する他のアンケートの回収率よりも高く、0歳児から5歳児の子どもをもつ保護者にとって、重大な関心事であることがうかがえます。

1 就学前施設の入所理由や登降園の時間などについて(問8～問12)

①入所理由

- ・全体として、「集団生活の中でルールを守ることを身につけさせる」「集団で遊び、学ぶことを経験させる」「仕事などで、日中育児ができないため」が高くなっています。
- ・幼稚園では、前二者で7～8割を占めており、次いで「小学校入学の準備」、「保護者からの自立を促すため」となっています。
- ・保育所（園）では、前二者が2～4割となる一方、「仕事などで、日中育児ができないため」が8割を超えており、就労を背景に高くなっています。

②現在利用している幼稚園・保育所（園）を選択する基準

- ・全体として、「家（職場）からの距離が近い」が5割を超え高くなっており、同様に保育所（園）、公立幼稚園で高くなっている一方、私立幼稚園では、立地の関係からか、約3割と低くなっています。その他、地域的な要因としては、公立幼稚園について、「同じ小学校区にある」が約7割と高くなっており、小学校との連続性を視野に入れていることがうかがえます。
- ・私立幼稚園では、「教育方針や保育方針」が約5割を超えるように、特に多く、次いで「教育や保育の内容・カリキュラム」、「先生（幼稚園教諭・保育士）の人柄」が約3割となっており、他施設と異なる傾向がみられます。

③幼稚園・保育所（園）の登園・降園時間

- ・希望降園時間では、幼稚園において、現状の降園時間14時台に対し、15時から16時台の希望が多く、1～2時間の時間延長を希望するニーズが多い状況となっています。

2 幼稚園・保育所(園)での教育・保育内容について(問13～問18)

①幼稚園と保育所(園)との違い

- ・全体として、約9割近くの方が、「知っている」と回答しています。

②幼稚園と保育所(園)における教育内容の違いについて

- ・約9割の人が『違いはあると思う』と回答しており、幼稚園と保育所(園)の相違に対する認識は高くなっています。特に、私立幼稚園では「大きく違うと思う」が高くなっています。

③幼稚園・保育所(園)等の満足度・重視度

【全体】

- ・ほとんどの項目において、満足度より重視度のほうが高くなっています。
- ・全体として、「先生(幼稚園教諭・保育士)の温かい見守りの中で落ち着いて物事に取り組むこと」、「規則正しい生活リズムの提供」等の生活・社会的な要素の項目において満足度が高くなっており、重視度も同様の傾向を示しています。
- ・「簡単な読み書きや数を数えたりすること」、「子育て相談や親支援、子育て情報の発信」、「特別な配慮を要する子どもや家庭への支援」で満足度が低くなっていますが、それぞれ「どちらでもない」が約3～4割あることが特徴となっています。これらの項目については、それぞれ重視度についても低い傾向を示しています。

【各施設の特徴】

- ・重視度については、各施設ともに、おおむね同じ傾向を示していますが、満足度は各施設により、傾向の相違がうかがえます。
- ・各施設ともに、先生(幼稚園教諭・保育士)に関する各項目について、重視度が高く、満足度も比較的高い中、「充実した配置」の満足度が低くなっています。
- ・幼稚園では、「子どもたちが食への関心をもつこと」の満足度が保育所(園)に比べ、低くなっています。
- ・「簡単な読み書きや数を数えたりすること」では、幼稚園・保育所(園)ともに、公立に比べ、私立のほうが満足度が高くなっています。

④幼稚園・保育所(園)で充実してほしい役割や機能

- ・「通常の教育・保育時間内での英語、スポーツ、音楽、美術などの特色ある取組み」が幼稚園・保育所(園)ともに約4～5割と高くなっており、次いで「通常の教育・保育時間外でのそういった取組み」、「小学校と連続・一貫性をもった教育・保育」が高くなっています。

⑤幼児期の教育を行うことが望ましい年齢

- ・「3歳児から」が幼稚園・保育所(園)ともに最も多く、全体として5割を超えています。
-

3 子育て全般について(問19～問24)

① 家庭における主な子育ての状況

- ・「主に母親のみ」が5割、「母親と父親が分担している」が4割となっています。
- ・幼稚園では「主に母親のみ」が5～6割と高くなっているのに対して、保育所（園）では「母親と父親が分担している」が5割近くと、比較的、父親が育児や家事等に協力していることがうかがえます。

② 子育てをしている中での不安や悩み

- ・全般的に「子どもをしかりすぎているような気がする」と約4割と最も高くなっています。
- ・幼稚園では「子どもの病気や発育・発達に関する」と約3割、保育所（園）では、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が約3～4割とそれぞれ多い傾向にあり、家庭における子育ての状況が回答に影響していると考えられます。
- ・在宅保護者においては、「子どもの食事や栄養に関する」と、「子供の病気や発達に関する」といった養護的な項目が約4割近くと高くなっています。
- ・各施設等により異なる傾向を示しており、それぞれに抱えている不安や悩みに応じた子育て（保護者）支援が求められます。

③ 子育てをしている中での相談相手

- ・「配偶者」「祖父母」「友達」といった家族や友人など、身近な人への相談が多くなっています。

④ 就学前児童の子育てにおける問題点や課題

- ・全般的に「幼稚園や保育所（園）の費用が高い」「育児全般にお金がかかる」といった経済的な内容が多くなっています。在宅保護者においても同様の傾向であり、幼稚園・保育所（園）入所の際に、費用面の問題があることがうかがえます。
- ・幼稚園では、特に公立幼稚園において、「子どもを預けることのできる時間が短い」が高くなっており、預かり時間の延長の要望が高いことがうかがえます。

⑤ 子育てにおいて、今最も知りたいことや聞きたいこと

- ・全般的に「教育・保育に関する新しい情報」が約4割と高くなっています。次いで「生活習慣の自立のさせ方」や「急病時の対処法や病院の情報」となっています。

⑥ 子育てに関する情報の取得先

- ・「友達」「幼稚園・保育所（園）」「テレビ・雑誌・書籍」が上位3件を占めており、子育てをしている中での相談相手に比べ、配偶者や祖父母などの家族の割合が低くなる一方、幼稚園・保育所（園）や情報媒体からの取得が多くなっています。
- ・保育所（園）では、幼稚園と比較すると、「保育所（園）から」が最も多くなっていますが、幼稚園では、「友達から」の情報取得が最も多くなっています。

4 教育や保育に関する施策(問25～問29)

① 待機児童を減らすために必要だと思う施策

- ・「保育所（0～5歳児全体）の増設」「幼稚園の預かり保育の延長や条件緩和」が約5～6割と高くなっており、次いで「幼保一体施設の創設」となっています。
- ・幼稚園では「幼稚園の預かり保育の延長や条件緩和」が約5～6割と高く、特に公立幼稚園では最も高くなっており、「幼稚園の預かり保育」の拡充が待機児童解消に一定の効果があると考えられていることがうかがえます。

② 優先的に実施してほしい就学前児童に対する施策

- ・全般的に「幼稚園や保育所（園）にかかる費用の軽減」が最も高く、次いで「保育所（園）の数や定員増」が高くなっています。
- ・「幼稚園における預かり保育」は、全体では約2割ですが、幼稚園では約3割と高くなり、特に公立幼稚園では最も高くなっています。

③ 望ましい幼稚園と保育所（園）のあり方

- ・「幼稚園と保育所（園）に加えて、幼保の機能をあわせもつ施設が並存」が3割近くと最も高くなっていますが、「幼稚園と保育所（園）が並存」「全ての施設が幼保の機能をあわせもつ」が2割強と、3つの意見に分散されている状況です。また、分からない意見も約2割となっています。
- ・しかし、「幼稚園と保育所（園）に加えて、幼保の機能をあわせもつ施設が並存」と「全ての施設が幼保の機能をあわせもつ」を合わせると5割近くとなり、何らかの形で幼保の機能を併せ持つニーズの必要性を感じていることがうかがえます。
- ・幼稚園では、公立幼稚園は「全ての施設が幼保の機能をあわせもつ」の割合が他施設と比較すると高い傾向にあり、私立幼稚園は「幼稚園と保育所（園）が並存」が最も高いものの、「幼稚園と保育所（園）に加えて、幼保の機能をあわせもつ施設が並存」の割合も比較的高くなっています。
- ・保育所では、公私立を問わず、「幼稚園と保育所（園）が並存」、「幼稚園と保育所（園）に加えて、幼保の機能をあわせもつ施設が並存」が概ね同じ割合となっています。

④ 親の就労の有無等の要件に関わらず、希望する教育・保育が受けられる制度

- ・「そう思う」（55.0%）、「どちらかといえばそう思う」（25.7%）を合わせた、『思う』の割合が8割と大半を占めており、入所要件にかかわらず、希望する教育・保育が受けられる体制が望まれています。

⑤ 子ども・子育て関連3法の認知度

- ・「全く知らない」（52.9%）、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」（37.6%）を合わせた『知らない』が9割と、ほとんど知られていない状況となっています。今後、平成27年度とされる子ども・子育て関連3法の施行に向けて、保護者や市民への周知の必要性が高いと考えられます。
-

幼稚園・保育所(園)、子育て施策に関する自由意見

■自由回答の概要

自由回答（問30）に意見・要望を記入した人は254人で、有効回収数（529）に対する記入率は48%でした。概ね、2人に1人が記入されており、0歳児から5歳児の子どもをもつ保護者にとって、幼稚園・保育所（園）、子育て施策について、非常に高い関心を寄せていることが伺えます。

自由意見記入数	254
有効回収数	529
記入率	48%
意見等の件数	299

■自由回答の傾向と主な要望

自由回答の意見・要望について、「幼稚園の3年制の実施」（45件）、「幼保の連携」（38件）、「待機児童対策」（30件）が特に多く、次いで「保育料の軽減」（23件）、「保育所の入所要件の緩和」（17件）、「幼稚園における預かり保育の実施・延長、保育所の保育時間の延長について」（13件）、「子どもや親が遊べる・集える環境の整備について」（12件）、「給食の実施について」（12件）の意見・要望が多くなっています。

■自由回答の内容と件数（参考）

No	内容	件数	割合
1	幼稚園の3年制の実施について	45	15.3%
2	幼保の連携（幼保一体化等）について	38	12.9%
3	待機児童対策の充実について	30	10.2%
4	保育料の軽減について	23	7.8%
5	保育所の入所要件の緩和について	17	5.8%
6	幼稚園における預かり保育の実施・延長、保育所の保育時間の延長について	13	4.4%
7	子どもや親が遊べる・集える環境の整備について	12	4.0%
8	給食の実施について	12	4.0%
9	その他	105	35.6%
	合計	295	100.0%

■主な自由回答の内容

◆幼稚園の3年制の実施について

特に公立幼稚園で3年制を実施してほしいとの意見・要望が集中しています。3歳児からの幼稚園教育を期待する声は多く、3年制を実施する私立幼稚園が草津駅周辺だけに集中していること、経済的な理由等から、公立幼稚園での3年制を望んでいる状況となっています。また、他市町で3年制を実施されているのに関わらず、草津市において未実施であることに触れる意見もありました。

(主な意見の概要)

公立幼稚園の3年制保育を実施してほしい。
3歳くらいでは、親以外に同年代の子供と遊びたくなる時期なので、幼稚園で3歳児を受入れるようにしてほしい。
3年制保育をしている私立幼稚園が草津駅方面に集中しており、児童の増加している南草津駅方面から通うのが大変
公立幼稚園での3年制保育がないため、経済的な余裕がないが、私立幼稚園へと考えている人が少なくない。
3歳になり集団生活を学ぶため、幼稚園に行かせたかったが、自宅からの公立幼稚園は2年制であり、1年自宅で過ごすことになった。
私立幼稚園でないと3年保育に対応できず、草津駅東口側に集中している。住んでいる地域や経済力に関わらず、自由に選択できるとありがたい。
2年間で生活習慣などしっかりした教育が受けられるか心配。
子供の集団生活や社会性を育てる観点から、3年保育の検討を望む。
集団生活を始めて自分と他人を比べたり、できないことが見えたりして、子どもなりに悩んでいるように思う。3年制保育が早すぎたのか、何でも早くやるのがいいかは分からない。

◆幼保の連携（幼保一体化等）について

内容的に様々な意見となっていましたが、大きく分けると、幼保一体化に関する是非、保育に欠ける・欠けないで受けられる幼児教育・保育体制の違い、幼保一体化する上での問題点に関する意見となっています。

(主な意見の概要)

幼稚園は保育所に、保育所は幼稚園に、それぞれ見学・研修に行き、行事だけでなく、普段の様子も見て、それぞれの良いところを取り入れてほしい。
就学年齢は皆同じであり、幼稚園・保育所など、どこにいても希望する教育が受けられるようにしてほしい。
幼保一体施設は、カリキュラムや教育内容、日常生活での目標（到達点）などで幼保との大差をお互いの立場から上手く配慮してもらえたらと思う。今後、必要である施設であると思う。
幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設は具体的にどんな施設なのか、幼稚園・保育所とどう違うか知りたい。
幼稚園と保育園が一体化した時の具体的な運用がイメージできない。

親の都合で保育に欠ける場合は保育園、欠けない場合は幼稚園という区別は、核家族化が進み、血縁の希薄な現代にそぐわない。
早く帰れる子とそうでない子が出て子どもが寂しい思いをしたり、保育料の不公平が起こるのではないかと不安。十分に検討し、不公平感をなくしてほしい。
幼保の活動内容なども問題となると思う。例えば、PTA活動等、幼稚園での午前中を中心とする会議、保護者も参加する行事に、またそれに参加できない子供が存在するのはどうか。施設が足りないから一緒にするという発想は危険。
幼稚園と保育園を合体すればいい話ではなく、具体点を保護者に説明し、合意を得る事が必要。幼稚園・保育園、それぞれの良さが一体化によって無くなる気がする。
幼保一体に期待していたが、国の方針では全て一体にはならず、残念に思った。同じ歳の子を預かってもらうのに管轄の省が違うというのは感覚的におかしいと思う。
幼保一体施設を早く創設して欲しい。
幼保一体化をする意味はあるのか。
幼稚園、保育所に加えて、幼保の機能を併せ持つ施設の併存が利用者も選択できよと思う。ただし、幼稚園部分14時のお迎えに対し、子どもへの配慮が必要。
保育所において、幼稚園で行われている就学前教育を取り入れてほしい。
幼稚園で、保育所での体験（調理体験等）的なものを取り入れてほしい。

◆待機児童対策の充実について

待機児童が多いため、保育所（園）の増設などの対応を求める意見・要望となっています。「保育所に入れないため仕事に支障が出ている」、「求職中や産休・育休からの復帰や勤務時間が短い場合に、預けることが困難」との意見などがありました。

（主な意見の概要）

待機児童をなくしてほしい。
保育所の待機待ちをずっとしているが、入れないため仕事に支障が生じている。
子供もたくさん欲しいが、働きながら子育て出来る環境が整っていない。保育所の数を増やして欲しい。
保育所増設は、需要の掘り起こしになり、根本的な解決にならない。企業内託児所や働き方の見直しなど、企業に働きかけることも必要になると思う。
今、待機児童対策をしても、次に来るのは少子化であり、できた施設はどうなるのか。
職場復帰したいのに、預けられない。
求職中であるが、入所できない。保育所が決まらなければ求職活動もできない。
現在の学区の保育所は定員オーバーである。同学区で、幼・小・中を過ごさせたい。
駅に近い保育所を増設してほしい。

◆保育料の軽減について

保育料の金額の見直しや補助などの経済的支援を望む意見・要望となっています。保育所（園）においては、保育料軽減の要望が高くなっています。幼稚園においては、私立幼稚園の保育料補助金の補助条件の緩和・制度拡充を求める意見がありました。また、認可外保育施設に対する保育料の補助を求める声もありました。

（主な意見の概要）

3歳児未満の保育料がとても高く、扶養控除内で働くにも全て保育料に消える。
保育園の費用に補助が欲しい。保育料のために働いている感じ。延長保育料も負担が大きい。
保育料を見直ししてほしい。
一時預かりの料金の助成がなく、高すぎる。
幼稚園で、公立の保育料の差があり、私立は高い。
幼稚園（私立）の補助金の条件が厳しい。
幼稚園の預かり保育料が高くて利用しにくい。
認可外保育施設の保育料が高いため、費用の補助があると助かる。

◆保育所の入所要件の緩和について

親の就労などに関係なく、保育所に入れるようにして欲しいとの意見に加え、求職中やパート勤務の場合の入所要件緩和の意見がありました。また、勤務日数や勤務時間が少ないパート勤務に対応する保育や数時間単位の保育を希望する意見もありました。

（主な意見の概要）

親の就労に関係なく、保育園に入れるようにして欲しい。
働きたいけれど求職中は点数が低くなり、保育所に入れてもらえない。
保育園に入れず仕事ができない。パートだと余計入れない。
パート1日4時間程度で週2～3日といった勤務でも保育所に安心して子供を預けられるようにして欲しい。
近くに親族がいない人も多い。気軽に1日数時間単位で預かる施設が欲しい。

◆預かり保育の実施・延長、保育時間の延長について

幼稚園を中心とする保育時間の延長と預かり保育の実施についての意見・要望となっています。特に、公立幼稚園での預かり保育の希望が多くなっています。預かり保育の延長によりパート勤務が可能になるといった意見や、長期休みにも対応した幼稚園があるといいなどの意見もありました。

（主な意見の概要）

公立幼稚園でも、延長保育など（1～2時間）利用できるように、また利用しやすくなるとういと思う。
幼稚園における預かり保育を延長、増やしてほしい。
待機児童を減らすためには、まずは幼稚園の預かり保育を積極的に行うべき。
短時間パートなどに対応し、短時間でも預けられる幼・保園や、長期休み（夏・冬休み）にも対応した幼稚園があるとういと思う。

幼稚園でも週1、2日でも延長保育の制度があれば幼稚園に行く人も増えると思う。

幼稚園に通わしている間に働きたい。もう少し、保育時間を長くしてほしい。

◆その他の意見・要望

◎子どもや親が遊べる・集える環境の整備について

- ・近くに公園が少なく遊び場がないとの意見や、子どもが体を動かして遊べる室内の広い施設の要望が多くなっています、また、自由に入出入りできる遊び場（児童館など）の要望や子育て支援センターの拡充などに関する意見もありました

◎給食について

- ・主に、幼稚園において、給食を実施してほしいとの意見・要望となっています。また、家庭での弁当に対する栄養的な配慮、好き嫌いの改善や保護者の負担軽減の面から、幼稚園での週に1～数回程度の部分的な給食を希望する意見もありました。

◎その他の主な意見

- ・常時通えるといった、幼稚園でのプレ教室（就学前教室）の拡充
- ・幼稚園教諭・保育士の資質向上と人員不足への対応
- ・先生と保護者との会話・情報交換をもっとしてほしい。
- ・学区内での子ども・保護者の友達づくりができるような入所体制の確保
- ・子どもと地域、高齢者などが集える場所づくり
- ・小学校への準備としての簡単な読み書きや数字を教えてほしい。
- ・読み書きなどより、生活習慣や友達との関わり、特技を伸ばすことを重視
- ・幼稚園や保育所（園）などでの習い事をしてほしい。
- ・施設を選ぶ際の教育方針や特性が保護者に具体的に伝わる情報発信の充実
- ・一時預かりや病児保育の拡充
- ・発達支援や療育に関する正しい理解
- ・医療に関して、ワクチン接種や乳幼児健診による待ち時間等の解消